

静岡交通ニュース

公共交通の利用状況等に関するアンケート

調査の目的

本県では、自家用自動車の普及等により、公共交通の利用者は年々減少していますが、本格的な人口減少社会の到来や少子高齢化の進行により、日常生活における公共交通の重要性は一層高まるものと考えられています。併せて、観光客等も利用しやすい公共交通を目指していくことも必要です。

そのような考えのもと、県では関係行政機関や事業者と連携し、南伊豆・西伊豆地域を対象に公共交通のあり方について検討を進めるための南伊豆・西伊豆地域公共交通活性化協議会を平成 27 年 3 月に設置しました。

そこで、県民の公共交通の利用状況等を把握し協議会の取組の参考にするため、県政インターネットモニターアンケートを実施しました。

調査実施の概要

調査期間

平成 27 年 5 月 28 日 (木) から 6 月 10 日 (水)

調査対象

県政インターネットモニター 507 人
回答率 93% 回答 470 人

回答者の属性

(単位：人)

性別 年齢	10 ～20 歳	30 ～40 歳	50 ～60 歳	70 ～80 歳	計
男性	6	74	113	46	239
女性	19	133	73	6	231
計	25	207	186	52	470

(単位：人)

職業	人数
会社員、公務員	192
主婦 (夫)	127
学生、無職	101
自営業、その他	50
計	470

調査結果 1 路線バスの利用

回答者のうち、79%が路線バスを月 1 回も利用しないと回答している。そのうち 87%が、自宅の最寄りバス停があることを知っていながら路線バスを利用していないことが分かった。

月 1 回以上利用の有無

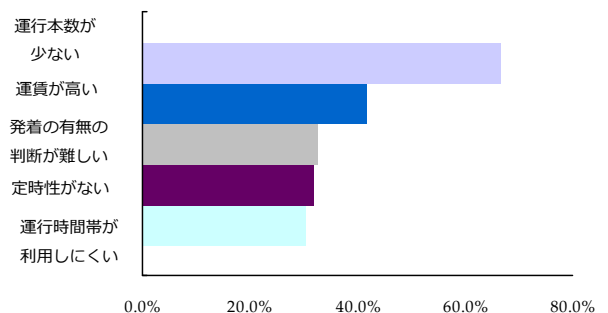
利用する	21 %
利用しない	79 %

利用しない者の最寄りバス停の認識

名称も含め知っている	67 %
存在は知っているが、名称は知らない	20 %
存在を知らない	5 %
最寄りバス停がない	8 %

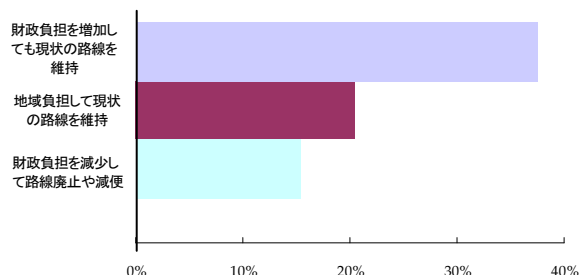
調査結果 2 路線バスの不便な点

路線バスの不便な点として、最も回答が多かったのは、「運行本数が少ない」ことで 67%でした。次に「運賃が高い」ことを不便と考える回答者が 42%でした。他にも「発着の有無の判断が難しい」「定時性がない」「運行時間帯が利用しにくい」を選択した回答者がいずれも 30%を超えました。



調査結果3 路線バスの維持

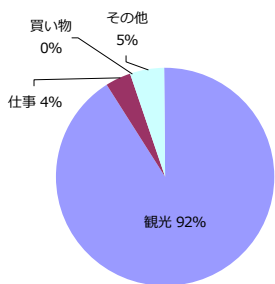
路線バスの維持については、なんらかの負担をしてでも、現状の路線バスを維持すべきと回答した者が57%いることが分かった。



調査結果4 南伊豆・西伊豆地域への訪問

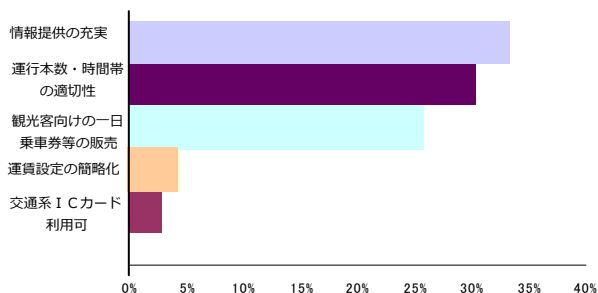
南伊豆・西伊豆地域への訪問目的は、92%が観光目的でした。

また、訪問時の移動手段として最も回答の多かったのは自家用車の90%であり、路線バスを利用して訪問したと回答した者は5%でした。



調査結果5 南伊豆・西伊豆地域の路線バス

南伊豆・西伊豆地域を訪れた方に、路線バスを利用するために特に重要なことを質問したところ「目的地までの行き方等分かりやすい情報提供」「利用者実態に合わせた運行本数・時間帯の設定」と回答した者が多く、サービス向上を求めていることが分かった。



調査結果6 自由意見

主な自由意見については、次のとおりでした。

- 知らない場所で運転のストレスから解放され、景観を楽しめる魅力が大きい。
- 世の中には車の運転ができない学生や高齢者等がいる。この方の交通手段を確保することが地域公共交通の役割だと思う。
- 小型のバスで運行すれば、細かい場所を停留所にてできる。また、燃費コストを抑制できる。
- 運行本数が少ない。最終バスの時間が早い。
- 路線バスと鉄道の接続がよくない。バスの発着時間を把握できるようにしてほしい。
- 今後高齢化で免許返納の人が増えた場合に、小回りのきく低料金のコミュニティバスのようなシステムが普及すると伊豆地区の人も暮らしやすくなると感じる。

まとめ

アンケート調査の結果、回答者の8割が路線バスを利用していないと答えている一方で、9割の方が自宅の最寄りにバス停があることを知っており、バス停の認知度は非常に高いことが分かりました。

また、路線バスの不便な点として、回答者の7割が運行本数が少ないと回答するなど様々なサービス改善の必要性を感じている一方、路線バスの維持については、行政の財政負担を増加しても維持すべきと回答しているものが最も多く、公共交通であるバス路線の維持に対する意識が高いことが分かりました。

最寄りのバス停から通勤、通学、買い物等で公共交通を利用してもらえるよう、サービスの改善・向上をしていくことが今後の課題です。

また、南伊豆・西伊豆地区への来訪に係るアンケートでは、ほとんどの方が観光を目的に自家用車で訪問していました。当該地域でバスの利用を促進するためには、乗りたいバスがすぐ分かるなど情報提供の充実、利用者のニーズにあった時間帯に運行などの改善を求めていることが分かりました。

これらの御意見は、現在策定している南伊豆・西伊豆地域公共交通網形成計画の策定に反映させてまいります。